

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕
- (3) 日本研究機関支援〔米州〕
- (4) 日本研究巡回セミナー〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェロウシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (2) 日本研究フェロウシップ（論文執筆）〔米州〕
- (3) 日本研究フェロウシップ（短期）〔米州〕
- (4) 知的リーダー交流（派遣）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,410,291 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	世界日本研究者フォーラム	日本	箱根 東京	箱根ホテル 国際交流基金さくらホール		2009.10.12 ~ 2009.10.15	海外における日本研究の内容や役割が大きく変化しつつある中、世界各地の日本研究の抱える様々な課題を討議すべく、主要国・地域で中核的役割を担う日本研究者12名を招へいして、「世界日本研究者フォーラム2009」(箱根)、公開シンポジウム「世界日本研究者フォーラム～変わりゆく日本研究：世界の現場からの報告～」(東京)を開催
2	カリフォルニア大学バークレー校日本研究者シンポジウム	米国	バークレー	カリフォルニア大学バークレー校	カリフォルニア大学バークレー校・日本文化研究センター	2009.12.01 ~ 2010.02.28	カリフォルニア大学バークレー校日本文化研究センター開設50周年記念事業の一環として2009年12月6日「バークレーの日本研究：過去、現在と将来」と題するシンポジウムを70名の参加者を集めて開催。同校歴代所長セッション、「日本研究に対する支援」をテーマに議論。続いて、ハワイ大学社会学部P. スタインホフ教授より北米日本研究調査状況の報告。更に北米各大学の日本研究センター所長が発表を行ない、北米における日本研究の将来について議論を深めた

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 4,854,738 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会 (JSAC)	カナダ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	JSAC年次大会2009「津波：日本とグローバル危機」への経費助成
2	カナダ日本研究ネットワーク	カナダ	2009.05.01 ~ 2009.12.31	2009年度カナダ日本研究ネットワーク・シンポジウムへの経費助成
3	中南米日本研究協会	メキシコ	2009.05.01 ~ 2009.12.31	日本研究者を対象とした中南米スペイン語圏のネットワーク組織が実施する、第2回中南米日本研究協会シンポジウムへの経費助成

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める

合計額 64,011,863 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター・上級専門日本語研修 (第2年目) 専門分野における研究を遂行するために必要な上級日本語研修を実施
2	京都アメリカ大学コンソーシアム (Kyoto Consortium for Japanese Studies)	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	京都上級・古典日本語夏期プログラム (第2年目) 歴史的文献などの研究を行う学生・研究者を対象とした古典日本語の夏季集中研修を実施。修了者は米国の大学の単位としても利用可能で最大25名を受け入れ。3カ年計画の第2年目
3	五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA)	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	米国リベラル・アーツ・カレッジによる現代日本への取り組み (第2年目) 様々な分野の非日本専門教員に対する日本理解セミナー、訪日プログラムを実施
4	ハワイ大学マノア校	米国	2009.06.01 ~ 2010.05.31	米国における沖縄研究 (第2年目) 同大学日本研究センターが行う、国際会議、出版、カリキュラム開発、教員研究、図書館資料拡充等を含む総合的沖縄研究プログラム、3年計画事業の第2年目を実施。第2年目には、ハワイ沖縄移民関連書籍「ウチナンチュ」再発刊及び続刊の発刊に向けた調査・研究、沖縄の歴史と文化に関する教材翻訳、関連コース用教材開発、沖縄語方言ウェブサイト構築、歴史資料購入等の事業を実施
5	ケンタッキー大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	日本研究集中拡充プログラム (第2年目) 日本語及び歴史 (視覚文化・メディア分野) の2つの教員ポスト新設と関連する資料拡充等により全学部・大学院の横断的日本研究プログラムの拡充を目指す3年計画事業の第2年目を実施した。加えて日本の待映画上映及び講演事業を実施し合計419名の関係者・聴衆が参加
6	フロリダ国際大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	フロリダ国際大学において新規にポスト創設された日本社会学コースの担当助教授の給与と社会保障費の一部を支援する3年計画事業の第2年目として支援対象教員 Matthew D. Marrの給与と社会保障費の一部助成を実施

米州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
7	北米日本研究資料調整協議会	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	利用者中心の情報資源共有のための国籍を超えた戦略展開（第2年目） デジタルリソース事業、国際的な図書館相互貸借等のプログラムを実施。また、申請団体の活動管理を洗練し、多くの資金提供者を開拓、次の10年の計画を策定
8	ミシシッピ大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	日本史助教授の給与助成（第3年目） 支援対象教員Noel R. Wilsonにより、日本史専門講座を開講。国際交流基金の助成終了後は大学負担でポストを継続
9	モンタナ州立大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	文化人類学助教授の給与助成（第3年目） 支援対象教員山口トモミにより日本の文化・社会に関する計8講座を新たに開講
10	イリノイ大学	米国	2009.08.01 ~ 2010.07.31	中西部日本研究セミナー（第2年目） 中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナー。域内の大学が持ち回りでホストとなり、年5回2名の専門家により歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを実施する2年計画事業の第2年目
11	コロラド大学ボルダー校	米国	2009.08.01 ~ 2010.07.31	日本研究大学院課程及び教員向けアウトリーチ事業拡充（第2年目） 江戸文学・言語学・日本専門司書・歴史の教員ポスト新設。図書拡充。新たに大学院博士課程の認可を目指す3カ年計画の第1年目
12	バージニア大学	米国	2009.08.01 ~ 2010.06.30	国際的な文脈における日本理解（第2年目） 歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させる事業。当初3年計画の予定であったが初年度に教員候補者の採用が延期されたことにより計5カ年の事業となった。本年度は第2年目。教員ポスト拡大に合わせて図書館資料を充実させ博士課程学生の育成と学部教育の充実を図る事業を行なった。また、本助成支援により新たに歴史学部にてRobert Stolz准教授を採用、2講座の授業を行い延べ72名の学生が受講した
13	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	2009.05.01 ~ 2010.03.31	「日本の経済と社会」をテーマに、八木紀一郎（京都大学教授）を派遣。「日本の政治と政治思想1983～2008」研究プロジェクト最終公開セミナーへの経費助成。日本の歴史を中心とする図書の購送による図書拡充支援を実施
14	メキシコ工科自治大学	メキシコ	2010.02.02 ~ 2010.02.17	メキシコ工科自治大学国際研究学部がアジア太平洋コースの一環として新設した「日本研究コース（通称：吉田茂日本研究講座）」において日本の外交政策に関する講義を行うため北岡伸一（東京大学教授）を客員教授として日本より派遣。集中講義（計15時間、参加学生約25名）の他、上院議会における講演、TV放映等によりメキシコにおける日本事情理解を促進
15	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31	サンパウロ大学において「第20回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会・第7回ブラジル日本研究国際会議」を2009年8月27日～28日の日程で開催した。「日本研究の新たな展開-ブラジル・カナダ・フランスからの貢献-」をテーマに、各国の状況を反映した日本研究の状況を認識し、日本研究のあり方、将来を再考し、あわせてグローバル化が日本研究に与える影響についても議論し、約170名の聴衆を集めた。また、図書拡充支援として、学部学生・大学院生の参考文献充実につながる和書（209冊）洋書（126冊）の現物支援を実施
16	ブラジリア大学	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本研究講座における教員増及び学生増に対応するため図書資料の拡充に対する支援として日本図書資料（洋書28冊）の現物の寄贈を実施

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 日本研究巡回セミナー〔米州〕

日本研究者を海外に派遣し、講演等を行うことにより、米州での日本研究振興に資することを目的とする。

合計額 1,891,172 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	日本研究巡回セミナー	仙田 満	放送大学教授	ブラジル	UNIRITTER大学 建築・都市工 学学部 パラナ州工業 連盟(FIEP) サンパウロ 日本文化セン ター	2010.03.09 ~ 2010.03.21	日本の環境配慮型建築や都市空間に主眼を置き、近代化に伴う都市問題など日本とブラジル双方による議論を展開。その際の講演者として日本人専門家を派遣

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェロースhip (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 47,992,739 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	ANDERSON, David	ブリティッシュ・コロンビア大学 准教授	カナダ	神戸学院大学	2009.01.01 ~ 2009.06.30	2005年愛知万博訪問者の記憶：長期間にわたる記憶の心理学的研究
2	KAWANO, Satsuki	グエルフ大学 准教授	カナダ	早稲田大学	2008.12.27 ~ 2009.04.09	現代日本における家族形成過程の社会文化的分析：未就学児のいる両親が第2子を授かるうとする際に利用可能なリソースの認知
3	TIAMPO, Ming	カールトン大学 准教授	カナダ	慶應義塾大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	具体のカルトグラフィ (活動地図)
4	DENECKE, Wiebke	コロンビア大学バーナードカレッジ 准教授	米国	国際日本文化研究センター	2009.08.11 ~ 2010.05.10	「中国・ギリシャの足跡－日本語世界とラテン語世界の作者たちと文学伝統」
5	FOWLER, Sherry Dianne	カンザス大学 准教授	米国	神戸大学	2009.05.09 ~ 2009.08.01	日本の六観音イメージとその信仰
6	HESSELINK, Reinier H.	北アイオワ州立大学 准教授	米国	東京大学史料編纂所	2009.08.11 ~ 2010.05.10	長崎キリスト協会の盛衰 (1560年～1640年)
7	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学 准教授	米国	早稲田大学	2009.03.20 ~ 2009.07.19	つぎはぎ地域主義？日本と東アジアの新しい経済関係
8	KIMBROUGH, Randle Keller	コロラド大学 助教授	米国	南山大学	2009.05.30 ~ 2010.05.29	中世・近世仏教文学 (説経節及び古浄瑠璃) の翻訳プロジェクト
9	MURPHY, Joseph A	フロリダ大学 准教授	米国	横浜国立大学	2009.01.06 ~ 2009.08.13	無用／有用－日本近代における「戯れ」と文学
10	REITAN, Richard	フランクリン大学 助教授	米国	東京大学	2009.08.27 ~ 2010.08.12	ゲイストから精神へ：明治日本における精神の系統
11	SELINGER, Vyjayanthi Ratnam	ボウドイン大学 助教授	米国	国学院大学	2010.03.24 ~ 2010.08.10	14世紀日本の歴史文学における將軍像
12	SHAMOON, Deborah Michelle	ノートルダム大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.08.01 ~ 2009.12.01	情熱的な友情：日本における少女文化の美学
13	SKABELUND, Aaron Herald	ブリッグハム・ヤング大学 助教授	米国	北海道大学	2010.03.23 ~ 2010.08.02	「見えない男：戦後の日本の軍隊 1945～2005」
14	SAITO, Satoru	ラトガース大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.03.31 ~ 2009.12.31	19世紀末・20世紀初における日本の連載小説と文学の消費
15	WALTHALL, Anne	カリフォルニア大学アーバイン校 教授	米国	国際基督教大学	2009.03.30 ~ 2009.07.29	信仰の実施－平田家の歴史 (1800-1945)

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	WHITMAN, John Bradford	コーネル大学 教授	米国	東京大学大学院人文社会系研究科	2008.08.16 ~ 2009.07.21	平安初期訓点資料の比較研究
17	CASTELLANOS Moya, Horacio	作家	エルサルバドル	東京大学	2009.07.06 ~ 2010.01.05	安部公房と大江健三郎の小説における暴力と癒し
18	PEREZ VILLANUEVA, Omar Everleny	ハバナ大学 教授	キューバ	日本貿易振興機構アジア経済研究所	2009.09.24 ~ 2009.12.22	海外直接投資と経済成長：アジアの経験をキューバに
19	BARRON SOTO, Maria Cristina Esperanza	イペロアメリカ大学 教授	メキシコ	京都大学	2010.01.16 ~ 2010.05.16	スペイン帝国時代のメキシコ、フィリピン、日本間の太平洋貿易
20	PERELLO ENRICH, Juan Luis	サンチャゴ大学 非常勤講師	チリ	上智大学	2009.07.20 ~ 2010.01.19	日本語とスペイン語の対照的テキスト学：それぞれのテキスト構造の違いと和文翻訳過程・翻訳論への影響
21	NAGAE, Neide Hisae	パウリスタ州立大学 教授	ブラジル	神奈川大学	2010.01.15 ~ 2010.03.14	日本思想と日本文学理念の一考察
22	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	ロス・アンデス大学 教授	ベネズエラ	東京大学	2008.09.06 ~ 2009.09.05	「個人という概念の危機－阿部公房とガブリエル・ガルシア・マルケスの小説世界」

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 100,006,725 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	BERTHIN, Michael Edwin	ロンドン大学 博士課程	カナダ	株式会社国際電気通信基礎研究所 (ATR) 知能ロボティクス研究所	2009.05.10 ~ 2010.05.09	日本における社会ロボットの民俗学的検証
2	CALLAGHAN, Sean Koji	トロント大学東アジア学部 博士課程	カナダ	立教大学	2009.08.14 ~ 2010.08.13	衝突する集団性：戦前日本における生命、国家、そして作用
3	CRAIG, Christopher Robin Jamie	コロンビア大学 博士課程	カナダ	早稲田大学	2009.06.02 ~ 2010.06.01	近代中流階級：地方名望家と地方の発展 1890～1930
4	SERVICE, Jonathan Keith Ranta	ハーバード大学 博士課程	カナダ	東京大学	2009.09.16 ~ 2010.09.13	明治日本における音楽の現代化
5	ARNOLD, Michael John	ミシガン大学 博士課程	米国	明治学院大学	2009.07.01 ~ 2010.06.30	毎日午後のセックス 日本ピンク映画の形－ボディと映画写真主義の欠如
6	ATHERTON, David Carl	コロンビア大学 博士課程	米国	立教大学	2010.03.13 ~ 2011.03.12	神が人であった時：中世本物地における家族、苦、と異郷

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
7	BRONSON, Adam Paul	コロンビア大学 博士課程	米国	東京大学大学院	2008.09.14 ~ 2009.09.13	民主主義・科学・日常性：思想の科学研究会と戦後日本1946～1996
8	BUSHNELL, Cade Conlan	ハワイ大学 博士課程	米国	筑波大学	2008.11.05 ~ 2009.11.04	「日本人」としてのアイデンティ構築：超級日本語非母語話者における相互作用の会話分析
9	DEPIES, Gregory John	カリフォルニア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	日本における国際赤十字
10	DES JARDIN, Molly Catherine	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.09.14 ~ 2010.09.05	アイデンティティ編集：明治後半の個人全集と「作家」
11	DOWDLE, Brian C.	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2008.09.18 ~ 2009.09.17	歴史再認識：明治日本における時代小説と歴史認識
12	EASON, Paul Vincent	プリンストン大学 博士課程	米国	九州大学	2008.09.04 ~ 2009.09.03	福岡の創造と製造：20世紀日本の地方と発展
13	ERDMANN, Mark Karl	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2009.08.09 ~ 2010.08.08	安土を解く：織田信長の城・都・イメージ
14	FLEMING, William David	ハーバード大学 博士課程	米国	大阪商業大学	2008.09.10 ~ 2009.08.24	近代初頭日本における平賀源内（1728～1780）、森島忠料（1754～1810）及び戯作と蘭学の交差
15	FRIEDMAN, Lindsey Gayle	ケンブリッジ大学 博士課程	米国	九州大学	2009.08.12 ~ 2010.02.11	縄文から弥生へ：日本への水稻耕作導入の同位体研究
16	GAGNE, Isaac Thomas	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.01 ~ 2010.03.09	神も英雄も無い？：漂流している日本の中の新興宗教
17	GIBLIN, Anne Louise	ウィスコンシン大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.01.17 ~ 2010.01.15	東北移民の社会ネットワーク
18	GLADE, Jonathan	シカゴ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.10.16 ~ 2009.10.15	文学の戦場―社会統制と戦う日本語文学1937～1953
19	HAAG, Andre Robert	スタンフォード大学 博士課程	米国	立命館大学	2009.09.02 ~ 2010.09.01	大正文化と文学における不逞鮮人像
20	HEWITT, Robert Shannon	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.14 ~ 2010.09.13	幕末劇作の教訓癖及び検閲：狂言、馬琴及び歴史小説
21	JACOBSON, Justin Price	ミネソタ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.07.07 ~ 2009.07.06	日本の公共交通志向型都市開発：形式化されたマーケットと他の土地活用方法
22	KAFFEN, Philip James	ニューヨーク大学 博士課程	米国	立教大学	2008.08.18 ~ 2009.08.10	終末論的なイメージの時代における暴力の働き：文化政治と現代日本の映画

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
23	KAMEI-DYCHE, Andrew Terence	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	埼玉大学	2008.08.24 ~ 2009.08.23	近代日本思想文化の形成における岩波書店の役割：1913～1965
24	KELLEY, Erin Eileen	ペンシルバニア州立大学 博士課程	米国	学習院大学	2008.10.07 ~ 2009.04.06	近代との葛藤：雑誌『白樺』と日本の前衛芸術
25	KHARIN, Ilya Nikolayevich	プリンストン大学 博士課程	米国	大阪大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	日本正教会の発生
26	LANDIS, Andrea Kay	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.03.30 ~ 2010.03.29	19世紀終わりから20世紀初頭にかけての東京の書籍市場地図
27	LAW, Ricky Wai-Kei	ノースカロライナ州立大学 博士課程	米国	東京大学	2009.01.10 ~ 2010.01.09	両大戦の間の日独関係
28	LAZOPOULOS, George	カリフォルニア大学 博士課程	米国	上智大学	2009.03.24 ~ 2010.03.23	第二の維新：昭和の進歩的なナショナリズム
29	LINDSAY, Ethan Claude	プリンストン大学 博士課程	米国	関西大学国際部	2008.09.01 ~ 2009.05.31	平安末期と鎌倉時代における高野山
30	McCLIMON, Sarah Jane	ハワイ大学 博士課程	米国	東京藝術大学	2009.05.16 ~ 2010.05.15	戦争と平和の軍歌：音楽、政治と記憶、1930から現代まで
31	MITCHELL, Arthur Moncrieffe	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.16 ~ 2010.09.15	日本に於けるモダニズム文学、近代性と言語的批評
32	NAKAGAWA, Ikuyo	ニューヨーク市立大学 博士課程	米国	世田谷美術館	2009.09.14 ~ 2010.06.13	「世界のフジタ」論考：藤田嗣治作品におけるナショナリズムとインターナショナリズム
33	NETTLETON, Taro Edward Fergus	ロチェスター大学 博士課程	米国	多摩美術大学	2008.10.31 ~ 2009.10.30	書を捨てよ、町へでよう：1960年代日本の前衛芸術における主体性と空間の関係性について
34	NOONAN, Patrick James	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	明治学院大学	2009.09.29 ~ 2010.09.27	カウンターパブリックの創造：日本の60年代にとって抵抗の美学と政治問題
35	SHOCKEY, Nathan Powell	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	1920～1950年の日本における読む技術と文学上の暴力
36	STARLING, Jessica Dawn	バージニア大学 博士課程	米国	大谷大学	2009.03.29 ~ 2010.01.15	寺の女性：現代日本仏教における伝統と変容
37	WALKER, Gavin	コーネル大学 博士課程	米国	一橋大学	2009.09.15 ~ 2010.07.15	分配／経済：地域、時間、そして日本マルクス主義の危機1922～1973
38	YANG, Timothy Ming-Chih	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.20 ~ 2010.09.19	モダニティーの科学：植民地期とポスト植民地期の台湾
39	YOKOTA, Ryan Masaaki	シカゴ大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.03.25 ~ 2010.03.24	沖縄のナショナリズム：独立と自治、ディアスポラと先住民主義

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
40	TURINO RAMOS Liset	エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究科 博士課程	メキシコ	立命館大学	2008.07.16 ~ 2009.09.15	狂言と笑いの世界：16世紀日本の滑稽の研究
41	TONGU, Erica Ayaco Sacata	サンパウロ州 教育監理官	ブラジル	上智大学	2008.05.17 ~ 2009.05.14	学校組織における民族性・国民性：日本における ブラジル人学校とブラジルにおける日本人 学校の比較研究
42	WATZKA, Anne Stefanie	イエール大学 博士課程	ブラジル	早稲田大学	2009.07.15 ~ 2010.03.14	新自由主義時代の日本のキャリア女性：その 迷路のような職業人生を通して

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 9,043,816 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CAZDYN, Eric	トロント大学東アジア研究 科 助教授	カナダ		2010.03.01 ~ 2010.04.28	「日本抜き」の日本映画
2	LEUNG, Aegean Oi Kam	ビクトリア大学 助教授	カナダ	創価大学、同志社大学	2009.09.20 ~ 2009.11.18	高学歴日本女性のキャリア・パスとしての起 業
3	McLeod, Ken A.	トロント大学 助教授	カナダ		2009.08.11 ~ 2009.08.31	語りを語る：ビジュアル系と日本アイデン ティティ
4	ALEX, Allison Megan	ラファイエット大学 助教 授	米国		2009.05.27 ~ 2009.07.05	現代日本における熟年離婚
5	BARON, Robert	ディレクター	米国		2010.02.28 ~ 2010.03.22	日本における民俗芸能保護
6	GLASSMAN, Henry	ハバフォード大学 准教授	米国		2009.06.10 ~ 2009.06.30	石から掘った救済：五輪の塔の起源・意味・ 伝播
7	MILHAUPT, Terry Satsuki	研究者	米国	共立女子大学	2009.04.21 ~ 2009.06.11	現代の着物
8	MORIMOTO, Risa	エッジウッドピクチャーズ 監督	米国		2009.03.29 ~ 2009.04.27	イサム・ノグチ
9	NEWHARD, Jamie Lynn	ワシントン大学 助教授	米国		2010.01.19 ~ 2010.03.20	出版文化・書物史の観点から見た近世の「女 書」
10	SABATINO, Michelangelo	ヒューストン大学 助教授	米国	青山学院大学	2009.07.24 ~ 2009.08.14	アーサー・エリクソンと日本建築の発見
11	TSUJIMURA, Natsuko	インディアナ大学 教授	米国		2009.05.20 ~ 2009.06.28	日本語変化の社会言語学的考察：「てある」 自動詞構文について

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
12	WEISS, Allen S.	ニューヨーク大学 準教師	米国		2009. 11. 12 ~ 2009. 12. 10	日本庭園の美に見られる隠喩と形而上学

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流 (派遣) [米州]

日本と諸外国の知的対話の推進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、内外の知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 1,776,571 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	対人地雷禁止条約第2回検討会議	谷川真理 竹川佳紀	マラソンランナー イオン1%クラブ事務局担当	コロンビア	コロンビア政府	2009.11.30 ~ 2009.12.04	コロンビア・カルタヘナにて開催された「対人地雷禁止条約第2回検討会議」へ専門家2名を派遣し、日本の地雷問題解決に向けた積極的な取組をより効果的にアピール

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 1,659,513 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日亜交流シンポジウム	日本	東京都	財団法人国際文化会館	外務省 アルゼンチン外務省	2010.01.15	日本とアルゼンチンの間の知的対話事業。「グローバルイノベーションと文化的アイデンティティ」をテーマに中南米とアジア、とりわけアルゼンチンと日本の間の様々な分野における交流の現状及び課題を明らかにするとともに、特に文化的交流の展望について、両国識者・文化人の中で対話を深めた

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 15,563,031 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本の移民と外国人労働者に関する研究会議	カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学	2009.11.18 ~ 2009.11.20	日本への移民と日本国内の外国人労働者の役割に関する会議開催、研究報告の発行。日本から6名の学者を招へいし、移民受入では同じく歴史と実績を有するカナダの研究者との間で3日間に渡って討論を展開
2	近・現代日本思想史を書き直す	米国 ドイツ	日本女子大学	2009.09.25 ~ 2009.09.27	新たな近・現代日本思想史像を、米国、ドイツ、日本の研究者が協同して考察することにより、日本の経験を広く世界的な基準で検討

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
3	日・キューバ国交80周年記念：第10回 キューバ・日本国際ワークショップ	キューバ	アジア・オセアニア研究センター	2009. 09. 21 ～ 2009. 09. 22	日本とキューバの学者・知識人・文化人・政府関係者等がハバナに会し、政治・経済・貿易・文化歴史等各分野に渡って両国関係の現状分析・研究報告・今後の展望等に関するシンポジウムを2日間に渡って実施
4	日墨交流400周年記念国際シンポジウム「日系ディアスポラのパースペクティブ：日本、メキシコ、アメリカ」	メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究センター	2010. 03. 16 ～ 2010. 03. 28	南北アメリカ大陸及び日本における日系ディアスポラについての歴史と現状を把握した上で、各国・各分野で幅広く研究活動を行う専門家間で議論を展開
5	研究プロジェクト「子どもの移動と教育－戦前・戦中期ブラジル日系移民子弟教育と在日ブラジル人児童・生徒の教育の状況比較研究－」	ブラジル	ブラジリア大学 早稲田大学移民・エスニック文化研究所	2009. 07. 1 ～ 2010. 03. 31	ブラジル及び日本の移民研究等の専門家を結集し、戦前・戦中期ブラジルにおける日系移民子弟教育の調査に重点をおきつつ、現代の在日ブラジル人児童・生徒の教育と比較し、移動・越境教育等の観点から両者の実態を把握。両者の共通点や相違点から、異文化接触・複数文化体験を通じた教育の可能性について議論を展開
6	アジア系アメリカ文学研究会20周年記念国際フォーラム	全世界区分困難	アジア系アメリカ文学研究会	2009. 09. 24 ～ 2009. 09. 29	アジア系アメリカ文学研究の成果発表及びポスト・グローバリズムの時代と言われる現代において、グローバリズムに代わるものとして提示されている「惑星思考」という新しい世界観について考察し、日本・南北アメリカ及びアジア諸国における多文化共生や国際理解の重要性及び可能性に関して議論を展開